

所属 総合文化コース	職名 講師	氏名 山本 昭宏	大学院における研究指導担当資格の有無 (有・無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
2 作成した教科書、教材、参考書 野上元・福岡良明編『戦争の社会学ブックガイド』創元社		2012年3月	「戦時下の抵抗」「大衆文化と戦争の痕跡」「体験の記述を読み解く」の項を担当それぞれのテーマについて、重要文献のブックガイドを行った。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
教養としての戦後〈平和 論〉	単著	2016年8月	イーストプレス		pp. 1～233
『核と日本人』	単著	2015年1月	中央公論新社		pp. 1-266
核エネルギー言説の戦後 史 1945～1960: 「被爆の 記憶」と「原子力の夢」	単著	2012年6月	人文書院		
共著 (分担執筆)					
「『原発文学』の三〇年: 原発と文学をめぐる想像 力の変容」	単著	2016年8月	青柿堂	日本社会文学会編『社会文学の三〇年:パ ブル経済 冷戦崩壊 3・11』	pp. 184-196
「反・核兵器から反・原発 へ: 「私たち」による「か	単著	2016年2月	河出書房新社	斎藤美奈子・成田龍一編『1980年代』	pp. 95-109

「っこいい」運動」					
論文					
「被爆者像のステレオタイプ化に関する一考察：映画『純愛物語』からテレビ特撮番組『怪奇大作戦』まで」	単著	2017年1月	『立命館言語文化研究』		pp. 7-16
「「祈り」と「怒り」の広島：原爆孤児救護運動とサークル運動を中心に」	単著	2015年1月	『史林』第98巻第1号		pp. 202-234
「戦後史のなかの被爆者像：ポピュラー文化におけるその定着と変容を中心に」	単著	2014年5月	『ノートル・クリティーク』第7号		pp. 2-22
「第五福竜丸事件からビキニ事件へ：ビキニ事件の受容からみる日本人の核意識の変容」	単著	2014年5月	『年報日本現代史』第19号		pp153-184
「「火垂るの墓」のメディア文化論」	単著	2014年3月	『神戸外大論叢』第64巻第3号		pp69-86
「「原子力の夢」と新聞：1945～1965年における『朝日新聞』『読売新聞』の原子力報道に関する一考察」	単著	2014年1月	『マス・コミュニケーション研究』第84号		pp9-27
「漁民と原発：1960年代の芦浜原発設置反対運動に関する考察」	単著	2013年12月	『二十世紀研究』第14号		pp77-99
「書評 山崎正勝著『日本の核開発：1939～1955—原爆から原子力へ—』」	単著	2013年1月	『史林』第96巻第1号		pp221-227

「一九八〇年代の雑誌『宝島』と核の「語り易さ」」	単著	2012年12月	『原爆文学研究』第11号		pp34-46
『核エネルギー言説の戦後史 1945～1960：「被爆の記憶」と「原子力の夢」』	単著	2012年6月	人文書院		pp1-326
「被爆体験と大衆文化としての地方文芸：詩誌『われらの詩』と『われらのうた』の文芸的公共性」	共著	2012年6月	『複数の「ヒロシマ」：記憶の戦後史とメディアの力学』青弓社	福間良明・山口誠・吉村和真編	pp71-102
「ヒロシマ」研究の現状と展望：「記憶」と「語り」を中心に	単著	2012年1月	『史林』第95巻第1号		pp267-280
「占領下における被爆体験の「語り」：阿川弘之「年年歳歳」「八月六日」と大田洋子『屍の街』を手がかりに」	単著	2011年12月	『原爆文学研究』第10号		pp101-111 頁
「『夕風の街 桜の国』と被爆の記憶：原作マンガと映画化作品の比較を通して」	共著	2011年	『「反戦」と「好戦」のポピュラー・カルチャー』人文書院	高井昌吏編	pp111-145
「科学雑誌は核エネルギーを如何に語ったか：1950年代の『科学朝日』『自然』『科学』の分析を手がかりに」	単著	2011年6月	『マス・コミュニケーション研究』第79号		pp153-170
「原爆投下以後、反原発以前：戦後日本と「平和」で「安全」な核エネルギー」	単著	2011年5月	『現代思想』、第39巻第7号		pp123-129
「被爆者表象の遠近法：「日常生活の冒険」論」	単著	2010年12月	『原爆文学研究』、第9号		pp17-23
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					

日本マスコミュニケーション学会	メディア史部会幹事 (2014年～)
戦争社会学研究会	運営委員